

ヘッドスペースガスクロマトグラフ質量分析装置

(SHIMADZU GCMS-QP2010 Ultra)

常温で気体または加熱によって気体となる化合物を分離する。分離カラムを変更することで様々な化合物の分析に対応できる。ガスクロマトグラフ質量分析装置は、未知の化合物であっても得られたマススペクトルをデータベース検索することで化合物の推定が可能。AOC-6000 オートサンプラーを増設している為、Liquid, HS, SPME に対応している。また、におい嗅ぎシステムを機器構成に加えることもできる。

